

平成 29 年 度
(2017 年度)

事業計画書

公益財団法人 吹田市国際交流協会

【2017(平成 29)年度 事業方針】

1. 組織運営及び事業展開について

2006 年に策定された第 3 次吹田市総合計画では吹田市の国際化や多文化共生について理念と指針が示されておりますが、実践するための具体的な事業化、予算化はされな
いまま今日に至っております。

この間、当協会は公益財団法人移行を経て、法人運営にも注力しながら吹田市の国際
化や多文化共生を推進するための有益な事業を展開してきたと自負しております。

吹田市からの補助金はこの 4 年の間、1350 万円から 800 万円（見込み）へと減額さ
れており、特に 2016 年度の補助金の申請については、唐突に人件費と物件費比率を 4：
6 とする旨の指示がありました。

このような経緯の中、2017 年 8 月には吹田市の国際化指針が策定されると聞いてい
ますが、それに先駆けて 2016 年 11 月に発足した吹田市の国際化を考える懇談会のメン
バーに当協会が入っていないことは大変残念に思います。

国際化指針の発効は 2018 年度からだそうなので、その折には国際化施策をどのよう
に展開するのか具体的な計画が示されると思う反面、2017 年度は従前どおりの方向を踏
襲することになると考えます。

従って 2017 年度もこれまでの当協会の基本方針のもと、大阪府、吹田市など関係行

政機関、近隣国際交流諸団体、市内大学との連携を図り様々な活動分野の市民団体、そして多くの国際交流ボランティアとの協働によって事業を推進していきます。

公益財団法人として団体自治の自主性も維持するように努めながら、公益事業の目的である多様な人や文化が尊重される豊かな地域づくりをめざしていきます。

2. 公益目的事業の概要について

(1) 事業の趣旨

「人権尊重を基調とした地域社会づくり」を目的とし、多様な人々が共に暮らしながらより豊かなまちづくりに貢献できるよう、持続的な在住外国人支援と市民主体の国際交流・協力活動の推進に努めます。

当協会の事業運営には多くのボランティアの協力が不可欠であり、事業への参加を通して協会の理念を伝えることにも繋がるので、ボランティアの裾野を広げ、ネットワークを構築し、専門的な知識を獲得できるよう支援する一方、外国人とボランティアが常に受益者と与益者に二分されずお互いに積極的に関わり合う中、柔軟で建設的な関係が築けるよう支援します。また国際社会で活躍できるグローバル人材の育成のために、協会の事業や他団体とのネットワークなど様々な場面で情報共有や学習機会の提供を進めます。職員は的確なコーディネートができるよう常に自己研鑽に励みます。

(2) 事業の構成

「市民主体の国際交流・国際協力」「国際化推進の人づくり支援」「在住外国人の支援」の3分野で構成し、個々の特性を生かしながら一体的な事業を実施します。

3. 多文化共生のまちづくり

少子高齢化の危機が言われて久しいですが、その対策の一つに在住外国人を地域の担い手として受け入れることは吹田市のように外国人の集住地域でなくとも必要なことです。そのためには在住外国人を共に暮らしていくパートナーとして地域で受け入れるための支援や、関係機関との協働により多文化共生のまちづくりを進めることが不可欠です。外国人にとって「暮らしやすいまち」を創造することは、吹田市が外国人だけでなく日本人にとっても魅力あるまちとなることにつながります。

その実現に向け、日本語教室、通訳ボランティアによる医療機関等への同行、居場所づくり、子どもの学習支援など様々な協会事業において在住外国人への支援を行います。

「暮らしやすいまち」から「働きやすいまち」、更に「子育てしたいまち」にすることで、将来、在住外国人が地域の支援者、担い手として活躍できるよう働きかけます。

また在住外国人が地域の活力となるための協力者を増やす人材育成の場を作ります。このように日本人、外国人双方を対象とする事業を展開することで、まちづくりの視点から多文化共生・異文化交流に取り組みます。

4. ボランティアや国際交流関係団体との協働

ボランティア研修を通して協働事業の担い手を増やすと共に新たなボランティア参画事業の可能性を探ります。また、吹田市国際交流団体ネットワークへの登録グループの自主的な活動の支援と地域の国際交流関係団体との情報共有や協働を進めます。

5. 他団体・組織・機関との連携

文部科学省 大阪・留学生住環境・就職支援サポートプロジェクト
CARES-Osaka(Communal Actions for Resident and Employment Support by Osaka)
参画や市内の各大学との連携事業、また「大阪府国際化戦略アクションプログラム」の推進において大阪府国際交流財団(OFIX)や近隣他市の国際交流協会との協働を進めます。また特に災害に備え広域国際交流関係団体ネットワークの保持に努めます。

6. 東日本大震災への対応

様々な機関と連携をとりながら協会事業を通して、東日本大震災被災地への支援を継続します。

【事業の内容】

I 市民主体の国際交流・国際協力

市民が主体となって国際交流や国際理解を進め、多様な価値観を認め合う地域社会の実現を推進します。

1. 友好交流都市との交流事業

吹田市の友好交流都市バンクスタウン市が 2016 年カンタベリー市と合併しカンタベリーバンクスタウン市となったため、新たな関係構築を模索します。市民レベルの交流を深める目的で両市を交互に行き来する訪問団受入れプログラムは吹田市の緊縮財政の影響を受けこの数年実施しておりませんが、将来的にグローバル人材育成の観点から新たな異文化体験プログラムとして実現されることを望みます。

2. 国際交流情報の収集及び発信

協会の活動紹介や在住外国人に役立つ多言語情報、国際交流情報などを掲載した会報を発行し、地域の国際化につながる情報を発信します。また、事業の周知や報告はホームページやフェイスブックで、ボランティア活動に関する情報はボランティア便りで、留学生や在住外国人へは多言語メイリングリスト「ミミヨリ INFO」の活用でタイムリーな情報発信に努めます。

3. 市内大学との連携による留学生等と市民の交流

大阪大学、関西大学等と連携し協会のホストファミリーボランティアが留学生を家庭に招き、日本の文化や生活を体験する機会を提供し、交流を通して相互理解を深めます。

ボランティアの世話人を中心に運営します。

II 国際化推進の人づくり支援

多文化共生の理解者を増やしながらか、未来を担う子ども達にも様々な体験学習の場を提供し、グローバルに活躍できる人材づくりを推進します。

1. 国際交流ボランティア活動支援

(1) 国際交流ボランティア登録

初めてボランティアを希望する方にも協会の理念や活動内容をできるだけ具体的に紹介して十分ご理解いただけるよう配慮した上で自主的に活動できるよう支援します。

(2) ボランティア講座

研修を通して多文化共生への理解を深めスキルアップを目指します。

(3) ボランティアによる日本語学習支援

ア. SIFA 日本語チューター

ボランティアによる日本語学習支援の機会拡充の場として開催します。多文化共生の人づくり支援の観点からボランティアによる自主運営を目指します。

イ. にこにこ日本語

2014 年度文化庁委託事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の成果として 2015 年度に開設した本講座を継続します。学習者のレベルに配慮

した少人数クラスでは生活の場面に即して作られたオリジナルのテキストに添って学習を進めるため、日本語指導を通してボランティア自身が日本文化について理解を深め、学習者と共に学び合い育ち合う機会となります。また、ボランティア同士で情報や体験を共有しながら自主的な運営の体制も整えていきます。

2. 語学教室（自主事業）

吹田市の友好交流都市カンタベリーバンクスタウン市にゆかりのある語学教室講師兼国際交流員を中核に位置付け、語学力を伸ばす目的だけではなく、外国語に興味を持って様々な国の文化や習慣などについても学び、語学学習を通して異文化理解に繋がるような授業を展開します。外国語に慣れ親しむことで、国際理解への関心を高め、多文化共生のまちづくりを担う人材を育成します。

また、保護者と一緒に学ぶ幼児をはじめ、高校生までの英会話クラスを開催し、英語学習を通して子ども達の異文化理解を深め、グローバル人材の育成に努めます。

子育て中の方にも学習の機会を提供するために保育付クラスを開設し、同時間帯に開設する日本語教室に通う外国人の親子との交流につながる場とします。

開講予定：英語、中国語、韓国朝鮮語、多言語クラス

3. 異文化理解・啓発事業

(1) 多文化共生講座

多文化共生についての理解を進め、地域の国際化を牽引する人材育成のために開催します。

(2) 異文化理解出前講座「地球村ぷらす」

在住外国人等を講師に異文化理解の講座を実施します。外国人が地域で活躍の場を広げる貴重な機会とします。

4. 子ども国際理解に関する事業

世界の多様な文化や環境などについての体験学習を通して国際理解を深めるプログラムを検討します。

5. 国際交流団体等支援・連携事業

(1) 市民グループ等との協働及び連携

吹田市国際交流団体ネットワークにより国際交流に関わる様々な団体や機関等がつながり、地域における国際交流、異文化理解、多文化共生、国際協力などの情報交換をすることで、それぞれが連携、協力できるような場を作ります。

また国際交流や国際理解など地域の国際化に寄与すると認められる事業のうち、市民グループなどが行う事業に対し、共催・後援・協力などを行います。

(2) 国際交流組織等との協働及び連携

多文化共生や国際理解、グローバル人材の育成などの国際化事業を進めるため
に
関係する行政組織や国際交流機関、大学等と広く連携することを目指します。

Ⅲ 在住外国人の支援

地域に暮らす外国人が地域社会において、支援されるだけでなく支援する側とな
って将来地域コミュニティを担う人材となるために必要な支援や協働を推進します。

1. 日本語教室（吹田市受託事業）

初めて学ぶ人から簡単な会話ができるレベルまで生活に必要な読み書きや会話を
習得するために、日本語講師によるクラスを週2回2クラス開催します。交流イベ
ントや生活情報などを提供し、日本の生活に早く慣れるよう支援します。

保育付きクラスを一部設け就学前の子どもがいても学習できる機会を提供します。

日本語発表会を年1回開催し、日頃の学習の成果を発表するとともに市民との交
流を図ります。

2. コミュニティ通訳ボランティア同行事業

日本語による会話が十分でない在住外国人が、言葉の壁により医療機関等を利用す
る機会が失われないよう、市内提携病院等を利用する際に協会の養成講座、若しくは
大阪大学主催の養成講座を修了した「コミュニティ通訳ボランティア」が同行し通訳
を行います。

※提携病院等：吹田市民病院・済生会吹田病院・済生会千里病院・吹田市立保健センター

3. コミュニティ通訳ボランティアスキルアップ研修（吹田市受託事業）

コミュニティ通訳ボランティアの技術向上を目指し、研修会を行うことで通訳ボランティアが安心して活動できるように支援します。

4. 地域事業への在住外国人の参加促進

在住外国人が地域の行事などに参加できるよう支援します。

5. その他の在住外国人支援事業

(1) 外国人児童生徒の支援

ア. ハロハロ SQUARE (外国にルーツをもつ子どもの学習支援事業)

日本語を母語としない子どもたちに日本での安心できる居場所を提供するとともに、日本語指導をはじめとする学習支援を通して将来に希望を持って日本で暮らしていく力を養ってもらえるよう実施します。大阪大学グローバルイニシアティブ・センターとの連携事業として、また近隣大学の学生及び教育に関心の高いボランティアの協力を得て学習支援を行います。

イ. 吹田市教育委員会が主催する「日本語適応教室」への協力

ウ. 大阪府教育委員会帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業への協力

「多言語進路・学校生活サポートガイダンス」を通じ、高校受験などの進路選択のための情報提供と相談などに協力します。

(2) 子育て中の外国人支援 「こあらくらぶ」

外国人ママ・パパの仲間づくり事業として子育て中や妊娠中の外国人に寄り添

い、日本で安心して出産・育児ができるように、のびのび子育てプラザや保健センター、ボランティアなどと協力して、交流や情報交換ができる交流会等を開催します。

(3) イコールアクセスのための情報の提供

ア. 行政情報などの提供

在住外国人も日本人と同じように行政などの情報が届くように、法律や制度の変更など必要な情報を提供します。

(4) 使える日本語（自主事業）

日本語学習中級者を対象に、仕事や地域などの社会参加をめざして「生活日本語」を学ぶ日本語クラス（有料）を開設します。